

## □ 「災害情報」と「自らの安否」をいち早く

## ～防災 GIS(地理情報システム)の活用～

## 藤沢市災害対策課

## 藤沢市の防災対策

本市の防災対策は、災害対策基本法第42条に基づき、地域防災計画を策定し防災対策の基本を定めるとともに、防災関係機関を含めた総合的かつ計画的な対策として、総合防災訓練、水防訓練、津波対策訓練、遺体収容訓練等各種の訓練を実施するとともに、避難施設・広域避難場所の確保、防災システムの充実・防災行政無線・防災備蓄倉庫の整備とあわせて備蓄資機材用品の充実を図る一方、災害対策の基本となる住民の防災意識の高揚及び連携を深めるため自主防災組織及び防災リーダーの育成事業を行っています。

また、近年の都市化の進展と阪神淡路大震災の教訓をふまえ建物の耐震化、狭阻道路の整備、木造密集市街地の解消など災害を発生させない都市防災対策や避難地や避難路の確保、また、老朽住宅や塀の改善等市民と行政が一体的に進める防災上安全な市街地の形成を図るため、平成15年3月に藤沢市都市防災基本計画書を策定しました。

従って、この計画書に基づき、誰もが安心して暮らすことができる、災害に強い都市

づくりをめざし、安全で快適な都市環境の整備を進めております。

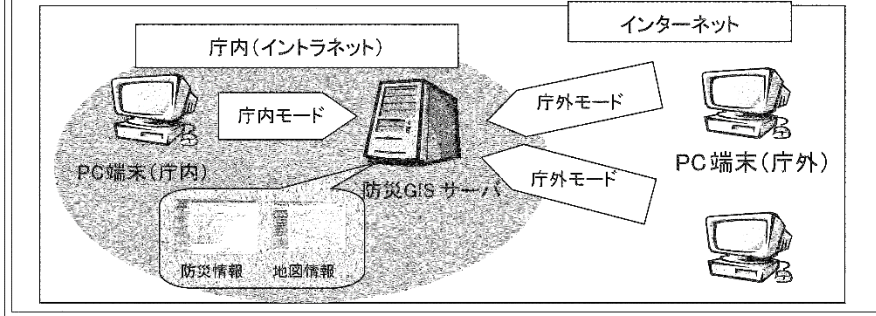
なお、津波対策については、現在実施中の海岸堤防事業や地域防災計画に基づく情報受伝達システムの整備、津波一時避難場所の指定等について推進しております。

## ●防災 GIS(地理情報システム)の活用

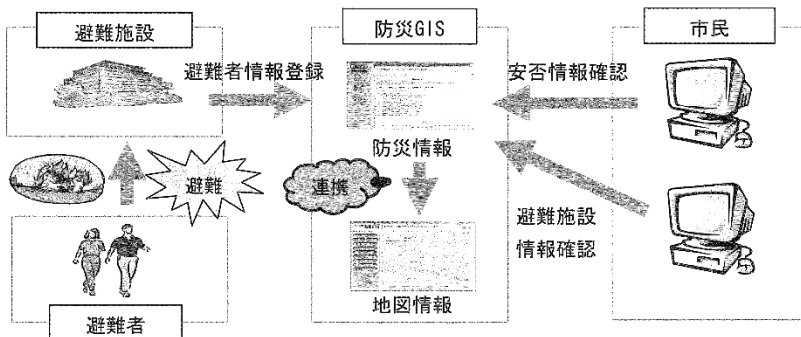
阪神・淡路大地震の教訓から、適切な判断による災害体制が早急にとる必要があり、このためには、災害現場の被災状況、避難施設の収容状況などの情報を迅速に収集することが重要であります。また、市民に対し正確な災害情報を提供することにより、避難時におけるデマ情報による混乱を防止することにより、的確な災害活動がとれ、被害を軽減できるのではと考え、1998年、藤沢市とNTT東日本が共同で地理情報を使用したシステムを構築しました。

このシステムには、「被災者の安否、避難施設、防災備蓄及び防災地図」などの情報を、インターネットを活用し、「藤沢市防災GIS」として公開してきましたが、本年2月に、

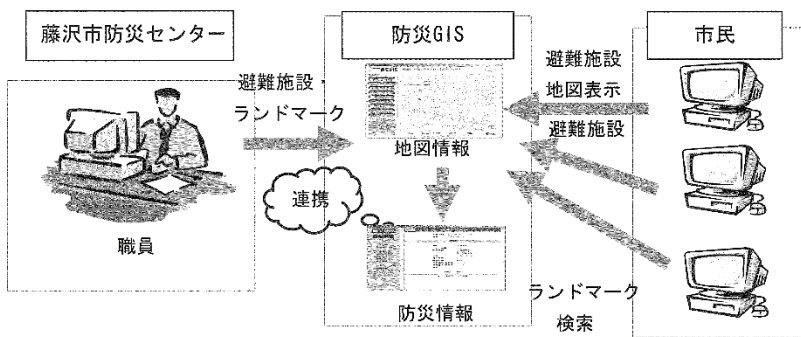
「藤沢市防災GIS」は、藤沢市の防災業務支援ならびに藤沢市民への情報公開を目的としたWebアプリケーションです。インターネットからは庁外モードで、庁内PC端末からは庁内モードで閲覧出来ます。アプリケーションには、防災情報と地図情報があります。



●防災情報アプリケーション



●地図情報アプリケーション



平常時・災害時の二つのモードを持ち合わせ、災害モード時には市民の方が自ら自分の安否情報などを掲載できるページを作りたいという考えからシステムを変更し、「災害情報」「安否掲示板」「避難者検索」などの項目を追加するとともに、地図情報の内容もリニューアルしました。

ここでは、今回追加した項目を中心に紹介します。

### ●正確な災害情報をキャッチ

#### 『災害情報』

このページでは、東海地震の予知情報として気象庁が発表する、「東海地震観測情報・注意情報」などの地震情報、風水害に関する情報及び市内で発生している災害情報などをリアルタイムで表示します。



今まで、本市ではこのような災害情報を市民の皆様にお知らせする方法は、市内 244 箇所に設置している防災行政無線から放送するのが主でした。しかしながら、市民の方から「放送した内容が聞きづらい・聞こえないので無線等の増設を」などの要望があり、他の手段により知らせる方法はないかと考え、この「防災 GIS」を活用した、災害情報専用ページを作り、市民の方にリアルタイムな災害情報を正確に周知するひとつの方法として構築しました。

### ●自らの安否をいち早く

#### 『安否掲示板』

大規模地震等大災害が発生すると、被災地の親戚、知人等への安否確認のための電



話が集中し、電話回線がマヒ状態となります。そのため NTT では「災害用伝言ダイヤル」を開放し対応しております。

本市としては、そのような大災害発生時、インターネットを通じて「自らの安否」や「家族、知人の安否」情報などを、規約の範囲内であれば、どなたでも自由に掲載でき、その掲載文に対し返事ができる機能を持った掲示板を構築しました。

●「防災(文字)・地図情報」との連携(より正確な情報提供を)

『地図情報』

避難施設、防災備蓄倉庫、街頭消火器、防災指定井戸などの防災施設を、地図上に表示でき、防災情報と連携することにより、さらに詳しい情報を確認できます。

また、自宅から避難施設までの距離を地

図上で計測でき、災害時における避難ルートなども確認できます。

●避難者の情報や避難施設状況を

『避難者検索』

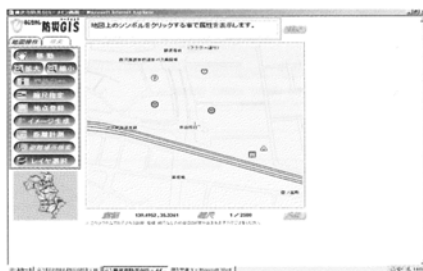
避難施設に避難している避難者の情報を表示します。

- ・避難施設の場所、避難日時、被災状況などを知ることが出来、避難者の検索も出来ます。

『避難施設情報・備蓄情報』

各避難施設の情報を表示します。

- ・避難施設の住所、電話番号、避難者収容人数、備蓄資機材の情報などを知ることが出来ます。
- ・地図情報と連携し、避難施設の地図を表示します。



●「藤沢市防災 GIS」（他の防災情報メニュー）

※市役所庁内モードのみ対応メニュー

『ボランティア情報』

ボランティアの受け入れ情報や技能項目などを表示します。

『画像情報』

被災状況などの画像を添付し表示します。

『物資配送状況』

各避難施設からの物資の請求や配送状況の確認が出来ます。

●おわりに

藤沢市では、阪神・淡路大震災を教訓に通常の災害対応はもとより、地震等の大規模災害時においても迅速な初動体制の確立及び災害対応の的確化を図るべく、総合防災センターの建設事業と、防災関係情報をリ

ンクさせた防災システムの構築及び市基幹情報システムの運用、効率化に取り組んでおります。

防災システムは、災害発生前、発災直後、復旧・復興期と一貫して使えるものが有効と考えられます。そのためには、各防災関係機関や地域住民との密接な情報連携体制や、災害ボランティア等の協力も欠かすことができません。

防災システムを活用し、的確な災害対応を図るためには、最新の被害情報などをすぐに更新でき、正確な情報を広く共有できるようにすべきである。このような観点から、より高度な地理情報システム(GIS)の利用が必要となり、被害情報の収集手段としては、高所カメラからの映像、携帯情報端末の利用、さらに最近は高精度衛星画像やGPSの利用なども取入れた総合的な防災情報システムへと発展するのが、今後の方向性ではないでしょうか。